

官報

平成六年四月二十八日

よつて、本案は全会一致をもつて可決されまし
た。

卷之三

○ 第百二十九回 会參議院會議錄第十四号

國第百二十九回

平成六年四月二十八日(木曜日)
午前十時一分開議

○議事日程 第十二号

平成六年四月二十八日
千前十時開議

第一 保安林整備臨時措置法の一部を改正する法律案(衆議院提出)

○本日の会議に付した案件
一、請假の件
以下 議事日程のとおり

○議長（原文兵衛君） これより会議を開きます。

木宮和彦君から海外旅行のため八日間の請暇の申し出がございました。

○議長(原文兵衛君) 日程第一 保安林整備臨時措置法の一部を改正する法律案(衆議院提出)を議題といたします。
まず、委員長の報告を求めます。農林水産委員長
長浦田勝君。

○議長(原文兵衛君)

総員起立と認めます。

○議長(原文兵衛君) これより採決をいたします。

以上
御報告申し上げます。（拍手）

啓発等について質疑が行われましたが、その詳細は会議録によって御承知願います。
質疑を終局し、採決の結果、本法律案は全会一致をもって原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

委員会におきましては、各期ごとの保安林整備計画の特徴と実績、災害防備、水質保全目的の保安林整備の必要性、第五期保安林整備計画の策定方針、特定保安林制度の実効性、森林保険制度の整備充実、森林工業の公益生産についての国民の意識

○**浦田勝君** ただいま議題となりました法律案につきまして、農林水産委員会における審査の経過と結果を御報告申し上げます。

本法律案は、保安林整備計画の実施の状況及び最近における山地災害の発生状況等、保安林に係る諸情勢の変化にかんがみ、保安林整備臨時措置法の有効期間を平成十六年三月三十一日まで延長して保安林の整備を図ろうとするものであります。

〔審査報告書及び議案は本号末尾に掲載〕

出席者は左のとおり

議長原文氏

官 報 (号 外)

保安林整備臨時措置法の一部を改正する法律

右の本院提出案をここに送付する。

參議院議長 原 文兵衛殿
衆議院議長 土井たか子

保安林整備臨時措置法の一部を改正する法律

十四号)の一部を次のよう改正する。
附則第一項中「公布の日から起算して四十年を経過した日に」を「平成十六年三月三十日限り」に改める。

(施期)
附則

この法律は、平成六年四月三十日から施行す

2 地方税法(昭和二十五年法律第二百一十六号)の一部を次のように改正する。

附則第十条第一項中「平成六年三月三十日」を「平成八年三月三十一日」に改める。

四月二十六日議長において、左のとおり議席を
変更した。
〔参照〕

一一一
一一〇九八七五四三二一
松谷^着一郎君
矢野^{哲朗君}
山崎^{正昭君}
吉村剛太郎君
太田^{豊秋君}
服部三男雄君
野間^{橘崎}
清水^{佐藤}
泰昌君^{達雄君}
泰三君^{赳君}

平成六年四月二十八日 参議院会議録第十四号

保安林整備臨時措置法の一部を改正する法律案

一〇 一一 一二 一三 一四 一五 一六 一七 一八 一九 一〇 一一 一二 一三 一四 一五 一六 一七 一八 一九

鹿熊	安正君
片山虎之助君	
鎌田	要人君
須藤良太郎君	
成瀬	守重君
合馬	敬君
尾辻	秀久君
石渡	清元君
井上	章平君
陣内	秀夫君
二木	孝雄君
野沢	太三君
岡野	裕君
竹山	覺治君
柳川	博君
吉川	方榮君
大浜	潤一君
笠原	顕正君
溝手	
佐藤	静雄君
河本	三郎君
加藤	紀文君
岡	利定君
野村	五男君
大島	慶久君
坪井	一字君
閼根	則之君
上野	公成君
中曾根	弘文君
木宮	和彦君
志村	哲良君
鈴木	貞敏君
下稻葉	耕吉君
守住	有信君
青木	幹雄君
上杉	光弘君

四月二十六日は、会議を開くに至らなかつたが、参照のため左にその会議の日時を掲載する。

第十一号中正誤

官 報 (号 外)

平成六年四月二十八日 参議院会議録第十四号

第三種郵便物認可日
明治三十五年三月三十日

發行所	〒105
大藏省印刷局	虎ノ門二丁目二番四号 東京都港区
電話	
	(03) 3587-4294
定価	本号一部
(配送料別)	三円一〇三円